



最近整備した文献の紹介（食の安全性関係，農産物貿易関係）

農林水産政策研究所では，平成 13 年の発足以来，農業政策支援機関として喫緊の施策に関連する研究を行っています。図書館では，それらの研究に関わる文献資料を整備してきましたので，最近整備した主要なものを紹介します。

近年の最重要課題である食の安全性や危機管理関連では，全般的な文献として，宮崎隆典「食品の安全最前線」，川口啓明「食品はどこまで安全か」，中村靖彦「問われる食の安全性」，OECD「食品の安全と品質」，カズウェル J.「食品安全と栄養の経済学」，Ralston K.「Consumer food safety behavior」等を整備し，各国の取り組み事例では，日本貿易振興会の「食品の安全性確保の取り組み」シリーズとして米国，英国，フランス，タイの各国についての報告があり，それらを入手しました。遺伝子組換え関連では，ペンス G.「遺伝子組換え食品：その不安と誤解」，日本貿易振興会「米国の遺伝子組換え農作物・食品の現状」，農林水産先端技術産業振興センター「遺伝子組換え食品に関する消費者意識調査結果事例の紹介」等を整備し，また食のリスク関連では，池田正行「食のリスクを問い直す」，農林水産政策情報センター「食品のリスクコミュニケーションに関する海外調査報告書（オランダ，EU，フランス版とドイツ，ベルギー版）」，「米国における食品安全性リスクコミュニケーションの実施状況に関する調査報告（カナダ版あり）」を整備しました。更に提言を述べたものとして，農政ジャーナリストの会「どう防ぐ「食の安全」崩壊」を，事典としては，田村昌三「安全の百科事典」を整備しました。

一方，我が国の農産物貿易を取り巻く問題も一層重要性が増しています。この分野では以下のような関連文献を整備しました。服部信司「WTO 農業交渉：主要国・日本の農政改革と WTO 提案」，高瀬保「WTO と FTA：日本の制度上の問題点」，小寺彰「WTO 体制の法構造」，パブリック・シチズン「誰のための WTO か？」，阿部一知「中国の WTO 加盟と日中韓貿易の将来」，Michalopoulos C.「Developing countries in the WTO」，Kanai Michio「Effect of trade liberalization on agriculture in selected Asian countries」，WTO「WTO Dispute settlement reports 1996 - 2001 31v.」，GATT「GATT Basic instruments and selected documents supp1 - 41,1953 - 1994. 20v.」。また，FTA 関連では，木村福成等「加速する東アジア FTA」，浦田秀次郎「FTA ガイドブック」，日本貿易振興会「オーストラリアの地域貿易協定（FTA）における農林水産物の取り扱い実態調査」，Inkyo Cheng「Koreas FTA Policy」事典等では，松下満雄「ケースブック ガット・WTO 法」，「アグロトレードハンドブック 2000-2003」を整備しました。なお上記資料は，全て当図書館でご覧いただけます。

（森脇 直基）

利用案内（開館時間）	午前 10 時～午後 4 時 30 分
（休館日）	土曜日，日曜日，祝日および年末年始
（利用に際して）	受付で入館手続きをおとり下さい。
（図書館の URL）	http://www.primaff.affrc.go.jp/library/index.htm